

## 青森：八甲田山

- ◆日程 2023年9月30日(土)
- ◆メンバー L:OT
- ◆天候 晴れのち曇り

先週はやや風邪気味だったが、昨日(9/29)嶽温泉に浸かり、ホテルでもしっかり休めたので、調子は良い。ホテルで朝食後、弘前駅に向かう。天気良く、稲作地帯を疾走する電車からは岩木山から八甲田山まで一望できる。予報では下り坂なので、何とか持って欲しい。青森駅に着くと、バス待ちの列が長い。インバウンドで十WD方面が大人気ようだ。用意された臨時バスに乗り込み酸ヶ湯着。樹林帯の登山道に入るとひどくぬかるんでいる。下山時注意だ。硫黄臭のする沢の出合から森林限界を越え、ぬかるみを脱出。見晴らしの良い中を進む。いよいよ大岳



に取付くころ、南の方から雲が広がり、すぐ隣の小岳に掛かり始める。予報よりは遅い到来だが、山頂までに追いつかれまいと、スピードアップ。何とか間に合った。南東以外は何とか遠望できる。次々と多くの人が登頂してくる。景色を堪能し、隣の井戸岳へ向かう。コルにある避難小屋から先はめっきり人が減る。多くの方は毛無岱に下るようだ。井戸岳からピストンで避難小屋に戻る計画だったが、お目当てだった陸奥湾はその先にある赤倉岳に阻まれて見えない。ここまでのコンディションなら安全かつ変わらぬ所要時間で戻れると判断し、赤倉岳を経由して毛無岱に向かうことにした。曇りがちになってきたが、陸奥湾とそれを囲む下北半島と津軽半島の地図通りの地形を望むことが出来た。ロープウェイ駅手前から毛無岱へのトラバースルートが実は曲者で、ひたすらぬかるんだ悪い道。続く毛無岱は気持ちの良い高層湿原。紅葉が始まっておりまずまずの眺めだった。樹林に入ると再びぬかるんだ道。酸ヶ湯温泉に戻り、屋台のブラックベリージュースで渴きを癒し、温泉を堪能。学生の頃、自転車で来て以来だが、ヒバ千人風呂はその頃のままだった。青森駅で帰りの夜行バスを待つ間、郷土料理と地酒を楽しみ、最後まで天候に恵まれた旅を締めくくった。(記:OT)

CT: 弘前駅 7:06= (電車) = 青森駅 7:46/8:10= (バス) = 酸ヶ湯 9:20/9:30 - 大岳  
11:15/11:50 - 赤倉岳 12:30-酸ヶ湯 14:30/16:38= (バス) = 青森駅 18:05

